

【課題】感じる力の育成

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものを深く見つめ、美しいものに感動をする心</li> <li>・基本的な知識・技能の習得</li> <li>・豊かな発想力と表現力</li> <li>・学んだものを生活にいかしていく力</li> </ul>	<p>批評会（鑑賞）に時間を十分にとって、自分や友人の作品を遠距離から客観的に見る力を養う。</p> <p>ポイントを個別指導で直してあげることによって良い作品になったという満足感を与える。</p>	<p>批評会で形、構図、構成色彩、発想等いろいろな角度から具体的にそれぞれの部位を指し示し批評をおこなう。</p> <p>机間巡視による指導で描いたり作ったりした直後に劇的に良く変わる様子を体験させ、制作意欲と教師への信頼感を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画 自画像（鉛筆淡彩）</li> </ul>
小学校5・6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てる。</li> <li>・主題の表し方を工夫し造形的な能力を高めるようにする。</li> <li>・造形活動の経験をいかして、活動や表し方、表現方法を工夫する力。</li> <li>・活動を通して自分のものの見方感じ方を深め、自分なりに対象や事象を味わおうとする態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、材料の特徴や構成の美しさなどを感じ取らせ、用途などを考えながら、自らの表現を具現化できる力を養う。</li> <li>・用具や素材の形状・種類だけでなく、素材のしなやかさ・豊かさに子どもが触れられるようにする。</li> <li>・自分たちの作品、我が国や諸外国の美術作品の鑑賞を通してよさなどを友だちと話し合わせる。</li> <li>・鑑賞するときの視点やヒントなども与えながら、観ること気付くことの積み上げを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して感じる力を育成する。</li> <li>・活動や表現方法に応じて材料や用具を児童自ら選び活用できるように、教室環境や場の設定、材料の渡し方を工夫する。</li> <li>・鑑賞活動の積み重ねで、自分や友達との違いや美術作品のとらえ方を広げるようにする。</li> <li>・前学年までに経験した表現・技術などを生かして活動出来るよう支援する。</li> </ul>	<p>大西小</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画・立体・工作・鑑賞・造形遊び・共同制作</li> </ul>
小学校3・4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、創り出す喜びを味わうようにする。</li> <li>・自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに着目しながら、自分らしく技能を働かせようとする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見つけて表す力を養う。</li> <li>・感じたことや思ったことを、友人と話し合ったりすることで、いろいろな表し方や材料による感じの違いを感じ取らせる。</li> <li>・用具や素材の形状・種類だけでなく、素材のしなやかさ・豊かさに子どもが触れられるようにする。</li> <li>・鑑賞をするときの視点やヒントなども与えながら、観ること気付くことの積み上げを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画をたてるなどしてつくる力を育成する。</li> <li>・既習の材料や用具を児童が活用できるように、教室環境や場の設定、材料の渡し方を工夫する。</li> <li>・鑑賞活動の積み重ねで、自分や友達との違いや美術作品のとらえ方を広げるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画・立体・工作・鑑賞・造形遊び・共同制作</li> </ul>
小学校1・2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手や体全体の感覚などを働かせて、感じたこと、想像したことを表す力や表したいことを工夫して表す力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具や材料を自分で選択して使えるように計画をたてる。</li> <li>・いろいろな作品を鑑賞し、見方感じ方を深め、作品を見て感じたことを話したり友達の考えを聞いたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな材料や道具を手に取りながら作りたいもののイメージをくまらせる。</li> <li>・鑑賞の時間を設定し、観る視点をわかりやすい言葉で与える。（おさかなみにいく）</li> <li>・いろいろな用具や材料が活用できるように、教室の環境や材料の用意の仕方を工夫する。</li> <li>・作品をつくる時に見本をたくさん用意し、考えを広げる。</li> </ul>	<p>大四小</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵・立体・工作・造形遊び・鑑賞</li> </ul>